

2007年7月25日

茨城県知事 橋本 昌 殿

日本共産党茨城県委員会

委員長 田谷 武夫

同 茨城県議会議員団

県議会議員 大内久美子

県議会議員 山中たい子

同 東海村委員会

委員長 川崎 篤子

同 東海村議会議員団

村議会議員 永井 一郎

村議会議員 大名美恵子

原子力施設の地震対策に関する申し入れ

7月16日午前10時13分発生した新潟県中越沖地震により、柏崎刈羽原発に耐震設計時の想定を大きく上回る揺れが襲い、原発構内に多数の亀裂や地盤沈下が起きました。変圧器の油漏れから火災が発生し、使用済み核燃料を貯蔵しているプールがあふれて放射能を含んだ水が放出され、大気中にも放射性物質が放出されました。

柏崎刈羽原発が引き起こした重大な事態は、原子力施設が集中立地する本県の住民に大きな不安を広げています。

東海第二原発は、1981年策定の旧耐震指針以前の建設です。昨年9月改定の新耐震指針によって現在、調査がすすめられています。耐震設計に用いられている基準地震動は、柏崎刈羽原発よりも小さく、今回と同程度の地震に襲われれば、柏崎刈羽原発を上回る被害が予想されます。

今回の中越沖地震を教訓にして、次の事項を実施されるよう申し入れるものです。

記

1. 東海第二発電所など原子力施設の耐震安全性の総点検をおこない、運転停止を含めた必要な措置をとる。
2. 原子力施設の自主消防体制を総点検し、抜本的強化を求める。
3. 国にたいし耐震指針の見直しを求める。
4. 原発推進政策はやめるよう国に求める。

以上